



まなびい 掲示板

総合センター使用料一部無料

11月は、芸術・文化推進月間です。
この月間に合わせて、免除団体となっている社会教育関係団体やサークルなどの総合センター使用料を無料とします。この機会に多数ご利用ください。詳しくは、公民館へお問い合わせください。

公民館 ☎66-2111 内線162

町文化協会設立40周年記念
文化講演会開催

町文化協会設立40周年を記念し、文化講演会を開催します。入場無料で、どなたでも自由にご参加ください。

【日時】 11月14日(土) 14時～16時

【会場】 総合センター（大集会室）

【演題】 「美しい村に放射能が降った」

【講師】 福島県飯館村 菅野典雄 村長



東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の影響で全村民避難が続く飯館村。その時、村長は美しい村と村民を守るため、何を思い、どう行動したのか。

教育委員会 ☎66-2111 内線275/276

=特集= 希望郷いわて国体

今年の国体は？
2015紀の国わかやま国体

今年の国体は第70回目を迎え、和歌山県で開催されました。9月26日の和歌山市での総合開会式から10月6日までの11日間、熱戦が繰り広げられました。

岩手県の成績は？

国体は秋の本大会と冬季大会の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績第1位）と皇后杯（女子総合成績第1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が熱い戦いを繰り広げます。

今年の岩手県の成績は、柔道成年女子が初優勝するなどの活躍で、昨年行われた長崎国体の天皇杯第37位を大きく上回り第16位と大きく飛躍しました。県内の各競技団体ではさらなる技術強化に努め、来年の開催県での天皇杯獲得を狙っています。

マスコットは？

国体では近年、開催県を特徴づけるマスコットを決めて、国体PRなど大会の盛り上げをしています。和歌山県では、紀州犬をモチーフにした「きいちゃん」が大会を盛り上げました。



2015紀の国わかやま国体マスコット「きいちゃん」



1ハロウィン・クリスマス仕様のリース作り 2じっくりと展示作品に見入る来場者たち 3きりを使い一生懸命ぶんどまづくりに取り組み子ども 4羊毛で作るお守り「ゴッドアイ」 5粘土細工を楽しむ子どもたち

作品展示400点、4団体が郷土芸能を披露



三味線の音に合わせて華麗な踊りを披露する葛巻幸山会



馬淵川源流太鼓の会が息の合った勇壮な太鼓を披露

10月24日と25日の2日間、第25回生涯学習フェスティバルが社会体育館の柔剣道室で開催され、生涯学習サークルや文化団体などが作品展示やステージで一年間の取り組みの成果を発表しました。作品展示コーナーでは、写真や絵画、小物入れや編みカゴなど、約400点の作品が展示され、作品一つ一つの素晴らしい出来栄に、来場者は感心した様子で見入っていました。

学びの体験コーナーでは、例年好評の樹脂粘土を使ったマグネット細工をはじめ、木の实を使ったハロウィン・クリスマスリース、羊毛創作のゴッドアイ、木で作るぶんどまごまの4種類の教室が行われ、「子どもと一緒に一つの物を作ることができてとても良かった」と楽しそうに作品作りに励む多くの親子連れでにぎわいました。ステージでは、葛巻幸山会、冬部七ツ物保存会、おどる江刈会、馬淵川源流太鼓の会の郷土芸能4団体が華やかな舞や勇壮な太鼓を披露し、観衆を魅了しました。

一年間の学びの成果を発表

第25回生涯学習フェスティバル



『捨て犬・未来と捨てネコ・未来』 今西 乃子 作

犬と猫の行動の違い、「犬と人」「猫と人」との絆の違いが分かるように、同じ「未来」という名前の犬と猫が、「人間社会」「理想の飼い主の姿」を楽しく語る。捨て猫を引き取り、飼い始めた家族と子猫の様子を、犬の未来の視点から描きます。捨て猫の現状も分かります。



『君の臓腑をたべたい』 住野 よる 作

病院で偶然拾った「共病文庫」という本。それはクラスメイトである山内桜良がつづっていた、秘密の日記帳。そこには、彼女の余命が臓腑の病気により、もうしばらくもないと書かれていた。病を患う彼女さえ、平等に突き付けられる残酷な現実。全ての予想を裏切る結末まで、一気読み必至！



『あっ！命の授業』 ゴルゴ松本 作

3年ほど前からボランティアで少年院を廻り行っている「命の授業」。独自の漢字を使った授業の様子が話題沸騰となっています。誰もが受けたがっていた「命の授業」が待望の書籍化！これを読めば、日本語のすごさ、日本のすごさを実感することができます。

公民館
図書室から

本の紹介

● 開館時間：午前8時30分～午後7時
● 休館日：年末年始